

株式会社トレンディ茨城（一般貨物運送事業）

創業は1978（昭和53）年。水戸ヤクルト販売会社のグループ会社として設立される。2014（平成26）年に水戸市谷津町に移転。水戸ヤクルトグループの物流事業を主体とし、自動販売機を取り扱うベンダー事業のほか、損害保険・生命保険を扱う保険事業など、幅広い分野で事業を展開している。従業員は30名。

【平成28年2月】

協会けんぽ茨城支部の健康づくり推進事業所として認定される

【平成29年8月】

経済産業省・日本健康会議による顕彰制度「健康経営優良法人2017（中小規模法人部門）」に茨城県で初の認定法人となる



【 伊藤社長と谷萩総務部長 】

■ 本格的な健康経営に至るまで

社内でラジオ体操を始めて20～30年になります。初めは数人でしたが、今は毎朝8時半に出勤している従業員で取り組むようになりました。以前は、体操を掛け声のみで行っていたんですよ（笑）。それが、7～8年前からは音楽付きで行っています。

体操は以前から行っていましたが、協会けんぽ茨城支部に健康づくり推進宣言を行ったり、禁煙喫煙の社内制度を設けるといった“健康経営”の取り組みは3年前からですね。総務が主体となって行っていました。

禁煙に関しては、管理職が非喫煙者のため、ある時期よりは喫煙者が減ってきている印象です。意識の変化が社内にあるのかもしれないね。



■ 健康管理のサポートは必須です

社内部門別の終礼で、総務から季節に応じた健康講話をすることがあります。最近では、インフルエンザ予防接種の会社助成や、がん検診の会社助成等、年間の計画を話しました。通年では、社員でヤクルトの愛飲、手指アルコール消毒の設置、時にはマスク配布も行っています。あとは、年に何回かヤクルト販売会社の管理栄養士から、年度途中に入社した方も含め、全社員が食育指導を受けられるようにしています。ヤクルトの愛飲はインフルエンザ、ノロウイルス対策として罹患率低下の効果があるといわれていますので、他企業にもおすすめできる取り組みです。



少ない人数で仕事を動かしているのので、社員の健康管理を会社としてサポートするのは必須ですね。

■ インフルエンザ感染者多数の危機的状況から

健康経営に取り組み、欠勤者（病欠）が減りました。取り組み前（3年前）に一時インフルエンザに6人も感染するという状況がありました。社員が出勤できない、それでも仕事を回していけないといけませんでした。それをきっかけに、うがい・手洗いの励行、アルコー

ル消毒等に取り組み出すと、昨年インフルエンザにかかる人は0でした。

■ 健康経営優良法人2017の反響はありました

認定式に出席しましたが茨城県では一社だけだったので驚きました。その後、メディアには日本経済新聞北茨城版・茨城新聞に掲載されました。周囲からは数件、声を掛けていただきましたよ。今後も茨城県第1号としてPRしていきたいですね。



エントリーにはタイトなスケジュールでしたが、認定項目が普段の取り組み内容であったので、短期間で集中して行えました。具体的には、社内メールを活用して健康経営に関する情報共有をしていたため、それらを資料として提出したので、新たな資料作成等なく、スムーズにエントリーにつなげることができました。



健康経営が トレンドの 時代へ

伊藤社長曰く「従業員への投資という健康経営は、まだまだこれから。」とのこと。「永年勤

続者には人間ドックをプレゼントするようなことも考えています。」と今後の展望を語り、「今までの取り組みの継続や予防接種の会社助成の拡充、健康に対する啓発を今後も続けていきたい。」と、健康経営にこれからも意欲的に取り組まれる様子。伊藤社長自らもウォーキングを毎日行うなど、健康づくりに積極的に取り組み、茨城県の健康経営をけん引していかれることでしょう。